



シー アユタヤ(Sri Ayudhya)学校の生徒 10 名が来校



平成 30 年 11 月 14 日(水)

11 月 9 日金曜日。この時期の日本は快適という。しかし、熱帯の高校生には寒い。当日の気温は 15.5℃。ちょうど半分だ。เย็นดีตอนรับ。日本語で言えば「ようこそ」の横断幕。手作りの国旗。校歌の生演奏。そして2週間前の講座で覚えたばかりの「サワディーカ」。熱いおもてなしの気持ちとは裏腹に、冷たく降りしきる無情の雨…。



あっ、バスが来た！降り立つ際にパッと開く、異国生徒の傘の花。花びらを伝う銀のしずく。駆け寄る津島の生徒。一日あけての再会に言葉は要らない。はじける笑顔。微笑みの国タイ。

実は本校の生徒 10 名は、月曜日に東京入り。ホテルで対面した後、外務省での表敬訪問、在日タイ大使館での歓迎会などを一緒に行ってきたのだ。

興学館に向けて廊下を進むと、左右に貼りめぐらされた国旗の赤と紺のコントラストが鮮やかだ。

1 レセプション



最初に双方の教員、生徒からの挨拶といった堅いセレモニー。そのあとは、それよりもずっと堅い津島銘菓の「くつわ」を紹介。試食しながら、本校生による地元の紹介や説明があった。内容は、タイとつながりが深い山田長政、津島神社の参拝方法、本校の授業や部活動、そして日程についてだ。

2 授業体験

2限と3限は、それぞれのバディ(ペア)と一緒に授業を体験。古典や数学、英語だけでなく体育にも参加。卓球やミニベースボールなど室内での種目を楽しんだ。

3 生徒交流



シー アユタヤ学校は、バンコク都にある中高一貫校で中学1年生から高校3年生まで約 3200 人が在籍。スクールカラーは灰色とエンジで、灰色は「知恵と知識」、エンジは「強さ」を表現。パフォーマンスでは、そのTシャツに着替えてダンスを披露。本校側も盆踊りの代表曲として、炭坑節を紹介し一緒に輪になって踊った。

4 昼食と津島神社参拝、そして銘菓「くつわ」作り体験



昼食は天王通りに新しくできた「キッチン リエゾン」にて。地元の野菜を使った本格煮込み料理に舌鼓を打ち、男子生徒はべろりとタイらげた。



昼食後は天王通りを散策し津島神社に到着。午前中に習った参拝の仕方を一つ一つ思い出しながら各自が持つコインをぎこちなく賽銭箱に投げ入れた。そして運をつかめとばかりに、今度は勢いよく「おみくじ」を引いて運勢を占った。境内にはおりしもシキザクラ(四季桜)が薄く淡い紅色の花を咲かせ、その向こうには色づき始めたモミジ。平穏に春秋が過ぎるのを祈ったあとは「くつわ」作りを体験した。

5 剣道体験

棒(竹刀)で相手の頭や腕を叩くことには最初は戸惑っていたが、顧問からの説明を聞きながらやっていくうちにだんだん興味がわいてきたようだ。このときの様子については中日新聞の記事に詳しい。

6 ホストファミリー宅へ、そしてフェアウェルパーティ

夕刻からホストファミリー宅で2泊3日の生活が始まった。そして最終 11 日(日)には名古屋駅前のホテルでフェアウェルパーティが開催され、この事業の前半が終了。次は1月下旬の日本側生徒のシー アユタヤ学校訪問へと続く。

